

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		4/25~5/2	5/2~5/9	5/9~5/16	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	0.028	不検出	0.022
		セシウム137	0.230	0.110	0.210
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.080	0.044	0.110
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.076	0.036	0.086
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	0.021	不検出	不検出
		セシウム137	0.220	0.092	0.150
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.072	0.051	0.069
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.063	0.030	0.065
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.063	0.036	0.065
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.100	0.046	0.088

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		4/25~5/2	5/2~5/9	5/9~5/16	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.070	不検出	0.052
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.032	不検出	0.041

検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己 京都大学名誉教授

(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第85回目

大気浮遊じん放射能測定結果の解説

(平成29年4月25日~平成30年5月16日)

平成30年4月25日~平成30年5月16日の間の南相馬市における大気浮遊じんにおける放射性セシウム137は、平均0.08mBq/m³と低い値でした。高い数値の傾向がある地域でも、健康影響が予想される濃度には遠く及ばない値です。